



麻布幼稚園だより

令和 6 年 5 月 号
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

園庭のこいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。なかなか
見ることの少ない大きな鯉のぼりを、子供たちは喜んで見えています。

年長きく組では、「大きな、『きく組鯉のぼり』をつくろう！」と相談
をし、「きく組鯉のぼり」が出来上がりました。幼稚園の鯉のぼりより
大きな「きく組鯉のぼり」が出来上がり、泳ぐ姿に大歓声でした。



入園、進級から 1 ヶ月が経とうとしています。どの学級からも、担任への信頼感を基盤に新しい
環境での生活リズムが感じられるようになり、担任との関わりを通して遊び始める様子が見られま
す。連休明けには、保護者と離れがたくなる等のが見られるかもしれませんが、大丈夫です。

園長として、毎朝、登園してくる子供たちや保護者の皆さんと挨拶できることを楽しみにしていま
す。年長組では、立ち止まり、目を見て自分から挨拶をしてくれる子が多く、とても素敵だなと思
います。年少組、年中組では、ニコニコ笑顔の挨拶をしてくれたり、チラリと顔を見たりと、その子なり
の挨拶をしてくれる姿が見られます。「おはようございます。」と、しっかり挨拶ができるようになって
ほしいという願いはあっても、無理に言わせようと急ぐことは返って逆効果となることが多いです。
挨拶の仕方を伝えることやできるようになることは大事なことでありますが、大人同士が気持ちよ
く挨拶を交わす姿に触れることから、徐々に相手に挨拶をしようという気持ちをもったり、挨拶をす
る心地よさを味わったりしてほしいと思います。形だけではない、心が通う素敵な挨拶を自分
からできるようになることは、子どもたちの一生の宝物になることでしょう。

先日、年長きく組は、近隣の狸穴公園へ徒歩遠足に出掛けました。大人の足では「すぐ」の公園
です。お家の方と遊びに行ったことのある幼児も多い公園かもしれませんが、幼稚園の友達や先生
と行った徒歩遠足を子供たちは存分に楽しんでいました。安全に気を付けながら友達と手をつない
で歩き、とても急な坂道を下りて行ってきました。公園の自然物で遊んだこと、お弁当を食べたこ
とはもちろん楽しいことでした。そして、自分の足でしっかりと歩き行ってこられたことは、子供たちの
自信につながったのではと思います。

麻布幼稚園の今年度の主な取組の一つとして、「健康な心と体を育む」教育を推進しています。
戸外遊びを十分に楽しむことを基本とし、体を動かす楽しさを味わい、様々な体の動きにつながる
活動を工夫していきます。ぜひ、ご家庭でも、戸外で体を動かして遊ぶ、できるだけ歩いて行くなど
の機会を工夫してみてください。

「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」「戸外で体を動かして遊ぶ」「できるだけ歩く」

小学校以降の学習や生活につながる力、生涯にわたる「健康な心と体」の基礎を、幼児期にしっ
かりと育ててまいりましょう。